

第45期 日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 研修終了報告書

鈴木 萌

1 はじめに

この度、第45期生として日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画に参加させていただきました鈴木萌です。2017年8月から2018年7月にかけてのプログラムを終え、7月末に日本に無事帰国しました。この一年の研修期間中は多くの方々に支えられ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

この研修終了報告書では、研修内容等について書いていきたいと思えます。

2 研修先と期間

研修先：

- ・メキシコ国立自治大学 Universidad Nacional Autonoma de Mexico (UNAM)
- ・メキシコ国立自治大学 外国人のためのスペイン語コース
Centro de Enseñanza Para Extranjeros (CEPE)

期間：

2017/8/17～2018/7/29

3 研修内容

- ・CEPE/UNAM で受講・聴講したクラス

基礎スペイン語 3～4

メキシコの地理

中級スペイン語 1～3

メキシコ社会学

文法

文化遺産

作文

観光と文化遺産

会話

メキシコ美術・民芸品

メキシコ史



4 研修目標と達成状況

研修目標はスペイン語能力を伸ばすことと、自らの研究テーマ（メキシコの文化資源の保護と開発）について知識を深め多角的な視野を得ることでした。スペイン語に関しては CEPE で毎日の文法クラスに加えて作文や会話のクラスを受講し、授業や日々の生活を通して基本的なスペイン語能力に加え、渡墨前には苦手だった会話・作文能力を向上させることができました。また、帰国直前にスペイン語能力試験 DELE の B2 を受験し、無事合格。帰国後も DELE の C1 の受験に向けて学習を継続しています。

研究テーマについては、CEPE での文化クラス受講や UNAM での聴講を通じて知識を深めることができました。現地の学生たちと同じ授業に参加するのは当初はかなり大変でしたが、慣れれば次第に理解度も上がり、スペイン語での議論にもなんとかついていけるようになりました。

5 おわりに

メキシコでの研修期間中、新たな出来事や、文化、習慣の違いに遭遇しその違いと向き合う中で、自分の視野を広げることができたと感じています。また、日々遭遇する困難を克服していく中で、自分が沢山の人の支えられているということを実感するとともに、壁にぶつかった際に、それを乗り越える力を身に着けることができました。

最後になりましたが、一年間にわたりご支援いただきました外務省及び、在メキシコ日本大使館、広島県人会をはじめとするお世話になった皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。将来、どのような形になるかはわかりませんが、様々なことを与えてくれたメキシコと、今後もさらに深く関わっていけたらと思っています。